



2025/6 vol.1

情報教育班

「ICTだより」では保土ヶ谷支援学校でのICT機器を活用した授業の紹介やご家庭で活用できるアプリ、情報モラル等について保護者の皆様にお伝えしていきます。今年度も定期的に発行を予定しております。ぜひ、ご覧ください。

今回は、AIの課題についてです。



～AIと共生する社会～

昨今、AIが目覚ましい進歩を見せていますね。ChatGPTをはじめとしたX(旧Twitter)のGrok、Google Geminiなど、気軽にAIを駆使して検索できる時代になりました。

自動車も、中国では運転手が乗っていない自動運転のタクシーが運用されています。そういった中で議論されているのが「トロッコ問題」です。自動車を運転中に、急に5人の人間が道路に飛び出してきて、避ければ歩道を歩いている1人の人間を躊躇してしまう状況があるとします。そういった場合にAIにどういうプログラムを組み込むのかという問題です。

こういった状況はどうでしょうか。自動運転の車の前に歩行者がいきなり出てきて、避けると壁に激突するという場面です。一見、「歩行者を避ける」ことが正解な気がしますが、歩行者を避けることを優先して、壁に激突する自動車に誰も乗りたくないですよね。これらは極端な例ではありますが、自動運転の技術が向上すればするほど、考えていかなければならない問題として議論されています。

皆さんはどう考えますか？

■ ICT活用実践01 小学部

小学部では、課題学習で「ワオっち！」という知育アプリを使用しています。平仮名や数、マッチングなどのミニゲームが入っていて、児童の実態に応じた学習を進めることができます。また、お絵描きや着せ替えなどのゲームもあるので、課題学習への意欲を高めたり、余暇を充実させたりすることに繋がっています。



■ ICT活用実践02 高等部

高等部では、「Figjam」というアプリを使用し、修学旅行の事前学習に取り組んでいます。「Figjam」アプリとは、複数人で同時にボード上で作業ができる、アイデアをリアルタイムで共有できるアプリです。修学旅行の活動場所について調べたことを共有しあい、修学旅行へのモチベーションをお互いに高め合う様子が印象的でした。



■ ICT活用実践03 舞岡分教室

舞岡分教室では、家庭科の授業でボタンを縫う実技に取り組む際、動画を見ながら学習を進めています。動画は教員が必要な場面を編集したもので、classroomにある動画を各自の進捗に合わせて視聴できます。ミシンを使う実技では、ミシンの設定方法をビデオで視聴し、自分で糸の設定をしました。生徒が自分に必要なタイミングで動画を見ながら進められるようにしています。

